

平成 28 年 4 月 19 日

データサイエンス・オンライン講座第 2 弾
「社会人のためのデータサイエンス演習」の開講
ービジネス活用を想定した実践編講座ー

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス演習」を本日開講します。
この講座は、行政やビジネスでの活用を想定した実践編講座です。

- 我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速化させるためには、ビジネスの現場においても、公的統計やビッグデータを活用した課題解決能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に付けた人材が不可欠となっています。
- このような状況を踏まえ、総務省統計局及び統計研修所は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」を開講し、延べ 2 万 8 千人を超える多くの方に受講いただきました。
- 本日、上記入門編講座に続く第 2 弾の講座として、「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講します。
- この講座は、行政やビジネスでの活用を想定した実践編講座として、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を学ぶことができる内容となっています。
本講座紹介用ウェブサイト (<http://gacco.org/stat-japan2>) から、どなたでも 6 月下旬まで受講登録が可能ですので、是非御活用ください。
- こうした取組を通じて、日本の企業活動の活性化及びオープンデータの利活用を促進し、地方創生に寄与することを期待しています。

(別添資料)

- 参考 1 「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要
- 参考 2 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について
- 参考 3 MOOC とは

(連絡先)

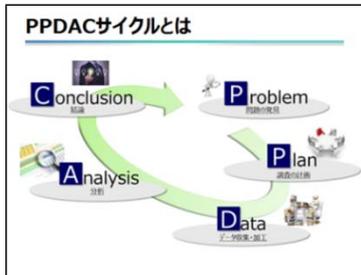
統計局統計情報システム課統計情報企画室
担当：吉田課長補佐 高橋係長
電話：03-5273-1023（直通）
FAX：03-3204-9361
E-mail: y-senryaku@soumu.go.jp

【参考1】「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

MOOC※の仕組みを活用し、無料で誰でも統計学を中心とした“データサイエンス”を学べるオンライン講座を提供
 2万8千人以上が受講した入門編講座に続く第2弾の講座（4月19日開講、7月8日閉講（6月下旬まで受講登録可能））
 行政やビジネスでの活用を想定した実践編講座として、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析
 （統計分析）の手法を学習可能

【講座の特徴】

- 企業等で活躍するデータサイエンティストを講師に起用し、分析事例を交えてデータ分析の手法を解説
- データ分析を活用した問題解決プロセス（PPDACサイクル）を身に付けることが可能なカリキュラムを構成
- ミクロデータを活用した課題を解くことによりデータ分析の実践力を養成



講義資料イメージ



【各週の内容】

週	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較の方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

【学習の流れ】

《講義動画》

データ分析の手法や留意点を解説
 （1コマ10分程度、各週5～6コマ）



《課題のための補講動画》

Excelを活用したデータ分析の方法について解説
 （第2週から第4週、各週1コマ）



《確認テスト及び最終課題》

ミクロデータを活用した課題を出題、データ分析を体感
 （第2週から第4週までは各5問、最終課題は15問）



講義動画イメージ



補講動画イメージ

※MOOCの仕組みについては参考3参照

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。



【当面の政策】

統計（データ）リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し、推進。

① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設（平成26年6月1日）

パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト



② 「データサイエンス・オンライン講座」の開講（平成27年3月17日）

ウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義（「MOOC」を活用）

- ・ 「社会人のためのデータサイエンス入門」

（平成27年3月17日開講、平成27年11月17日再開講）

⇒延べ2万8千人を超える受講者

- ・ 「社会人のためのデータサイエンス演習」（平成28年4月19日開講）



「日本再興戦略」改訂2015（平成27年6月30日閣議決定）等に基づき推進

【参考3】 MOOCとは

【MOOCとは】（Massive Open Online Courses の略）

- インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了書を発行。

講座選び



受講登録



受講



修了証発行

- **KHAN ACADEMY** : 非営利の教育サイト、初等教育から大学レベルの講義まで。
- **UDACITY** : スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、コンピュータサイエンス中心。
- **Coursera** : スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、世界の約100大学・機関が講座を開設。東京大学が参加。
- **edX** : MITとハーバードが共同設立した非営利組織、世界の約40大学・機関が講座を開設。京都大学が参加。

【地域MOOC】

- 自国の大学が提供する母国語でのサービスの必要性が高まり、各国で開設。
 - ・ FutureLearn（英国）、France Université Numérique（フランス）、XuetangX（中国）、miriada X（スペイン）、EDRAAK（ヨルダン）、The Open University of Israel（イスラエル）



【日本の状況】

- 日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」（日本オープンオンライン教育推進協議会）が平成25年10月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。